

【SRA Holdings】 Special Mail (No.241) 2025 年 2 月

(株) SRA ホールディングス代表取締役社長の大熊です。

本日、2025 年 3 月期第 3 四半期決算を発表しました。併せて、「決算付属資料」、「2025 年 1 月月次売上高速報」も発表しました。今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

〔2025 年 3 月期 第 3 四半期業績（連結）前年同期比〕

■売上高=9.1%の増収

■収益=「粗利益」、「営業利益」、「経常利益」、「四半期純利益」の全てで増益

◎売上高：365 億 82 百万円（9.1%増）

・開発事業（3.6%増）：金融業、情報サービス業および製造業向けが増加

・運用・構築事業（7.7%増）：製造業、金融業および情報サービス業向けが増加

・販売事業（18.4%増）：金融業、医療業向けが(株)AIT で大幅に増加

◎粗利益：94 億 84 百万円（8.1%増）粗利益率：25.9%（前年同期 26.2%）

◎販売管理費：39 億 12 百万円（5.1%増）

◎営業利益：55 億 71 百万円（10.4%増）営業利益率：15.2%（前年同期 15.1%）

◎経常利益：63 億 95 百万円（8.8%増）経常利益率：17.5%（前年同期 17.5%）

◎四半期純利益：39 億 72 百万円（10.9%増）

〔2025 年 1 月 月次売上高〕

(株)SRA=単月・累計ともに前年比増加

(株)AIT=単月で前年比増加、累計で前年比大幅増加

国内子会社=単月・累計ともに前年比大幅増加

海外子会社=単月・累計ともに前年比減少

海外子会社は減少しているものの、その他は前年比増加しており、特に(株)AIT ならびに国内子会社は好調に推移

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2024.html

米中摩擦の継続、ウクライナ問題の長期化、中東情勢の緊迫化など地政学リスクが高まるなか、米国や欧州における金利水準の高止まりによる景気後退懸念や、中国における不動産不況の継続など、先行き不透明な状況が継続しています。

一方、国内景気は、物価高騰の一方で雇用や所得環境の改善もあり、緩やかながらも回復基調が続いており、情報サービス産業においては、エネルギー・原材料価格の高騰などはいまだ継続しているものの、業務の効率化やビジネスの改革等の投資需要は引き続き堅調に推移しております。

そのような中、当社の第3四半期業績（前年同期比）につきましては、「開発事業」、「運用・構築事業」、「販売事業」の全てのセグメントで増加し、特に「販売事業」が好調に推移した結果、売上高が増収、また、粗利益、営業利益、経常利益、四半期純利益について、全て増益となりました。

なお、売上高、売上総利益、営業利益、経常利益ならびに中間純利益の全てにおいて、第3四半期連結会計期間として過去最高額を更新しております。

足元では、米国のトランプ政権による新たな経済政策が、株式をはじめとした各種市場の不安定化やお客様の業績に及ぼす影響など、先行き不透明感は一層深まりつつあることから、今後の下振れリスクに備え、引き続きお客様の投資動向をしっかりと注視する必要があるものと認識しております。

年度末に向け、売上の拡大、利益率の向上にグループ全体で尽力してまいります。皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。